



伶楽舎雅楽コンサート no.43
REIGAKUSHA Gagaku Concert no.43

伶楽舎創立40周年記念

芝祐靖作品演奏会その5

Works by Sukeyasu Shiba no.5

排簫合奏 ^{ゆうじじょ}遊児女 (芝祐靖復曲 1994年)

正倉院復元楽器合奏 ^{ふうこうちようちようし、きゆうこそうもん}風香調調子、急胡相問 (芝祐靖復曲 1983年)

神前神楽 青葉の舞 (芝祐靖作曲、宮田まゆみ作舞 2007年)

横笛二重奏 ^{ききょう}祈響 第十二番 (芝祐靖作曲 1990年)

管絃 ^{さんだいえん じよはきゆう}三臺塩 序破急 (芝祐靖復曲構成 1998年)

伶 倫 楽 遊

2025 5|21 (水) 午後7時開演 (午後6時15分開場)

渋谷区文化総合センター大和田 さくらホール

SHIBUYA CULTURAL CENTER OWADA SAKURA HALL (JR渋谷駅 新南改札から徒歩7分)

チケット 前売3,500円 当日4,000円(全席自由席) 学生2,000円(前売・当日とも)

チケット発売開始: 3月17日(月)

● 伶楽舎(枚数、氏名、電話・ファクス番号を明記ください。後ほど確認のご連絡をいたします。)

Eメール ticket@reigakusha.com (5/19 月 17:00まで)

FAX 03-5269-2011 *ファクスのみの取り扱い(5/19 月 17:00まで)

● 東京コンサーツ オンラインチケットサービス

http://confetti-web.com/TOKYO-CONCERTS

電話予約(カンフェティチケットセンター) 050-3092-0051 (平日10:00~17:00オペレーター対応)

● e+(イープラス) http://eee.eplus.co.jp

協力・客演 大崎八幡宮

企画・主催 伶楽舎

助成: 芸術文化振興基金



公益財団法人 花王 芸術・科学財団



三臺塩 序
塩相子八
閑瑠

三臺塩 序 (一)

Reigakusha 40th Anniversary

伶楽舎40周年記念の第二弾として、創立者芝祐靖の作品から多彩な曲を選び「芝祐靖作品演奏会その5」を企画しました。

1曲目の「遊児女」は、伶楽舎の初めての自主公演(1994年6月)のために、「新撰楽譜」より、正倉院復元楽器の排簫の楽譜として復元され、初演時の演出に倣って、今回は複数の排簫の退吹で演奏致します。敦煌琵琶譜「急胡相問」は正倉院復元楽器のための合奏曲で、伶楽舎のレパートリーの中でも人気の一曲です。

2曲目は、芝祐靖作品の中では特別な存在の神前神楽曲「青葉の舞」です。仙台の大崎八幡宮の御鎮座400年を記念して作られたこの作品は、伊達政宗公の和歌を歌詞にした神楽歌として、和琴や雅楽器の伴奏を付けた芝ならではの神楽曲です。これに宮田まゆみが舞を付けました。大崎八幡宮では毎年8月、御鎮座記念祭で舞われていますが、今回初めて、神社外での上演が実現します。女性4人舞の神前神楽にどうぞご期待ください。

「祈響12番」は「横笛練習曲」と付記された曲で、これまで公的な場では演奏された記録がなく、伶楽舎でも初めて取り上げます。横笛の名手だった芝が、龍笛の可能性の追求と、後進の育成の意味も込めて作曲した一曲です。技巧的な龍笛の絡みをお楽しみください。

最後は管絃曲「三臺塩 序破急」です。「三臺塩急」(三台塩急)は現行雅楽曲ですが、序と破の楽章は廃絶曲となっていました。これを復元すべく、楽譜が残っていない序の楽章は他曲を参考に補い、破の楽章は残された古譜から復曲し、御遊で好まれたという特別な「延只八拍子」を用い、現行の「急」の旋律も盛り込むなど工夫が凝らされています。蘇った「三臺塩 序破急」、堂々とした管絃の響きをたっぷりご堪能ください。

芝 祐靖 しばすけやす

1935年、800年余り続く奈良系の伶人の家に生まれ、1984年まで宮内庁楽師をつとめた後、龍笛演奏を中心としたソロ活動に入る。1985年伶楽舎を創立し音楽監督となる。古典雅楽の演奏では横笛の名手として知られ、現代雅楽、現代邦楽でも、演奏のみならず、作曲も多い。雅楽廃絶曲の復曲、および国立劇場の正倉院収蔵楽器復元に参加し、敦煌琵琶譜などの復興にも携わる。また皇室のためのオーケストラ曲も作曲するなど、多岐にわたる作品を残している。ソロ以外に、伶楽舎ほかのアンサンブルで海外公演も多数行う。その他、広く雅楽に親しんでもらえるよう、語り入りの子どものための雅楽作品を創作、自ら全国の小中学校などでの演奏活動に参加した。2003年より日本芸術院会員、2009年旭日中綬章、2011年文化功労者、2017年文化勲章、他多数受賞。2019年7月永眠。



大崎八幡宮 おおさきはちまんぐう

伊達政宗公によって築城された仙台城の乾(北西)の守護のため、1607年に現在の地、仙台市青葉区に鎮座。以降400年以上、仙台総鎮守として厄除け・除災招福、必勝・安産の神として尊崇されてきた。社殿は、造営当時、随一の工匠が招聘され権現造りで創建され、今日まで残る安土桃山時代の唯一の遺構として、国宝建造物に指定されている。内部の格天井には美しい草花が描かれ、多彩な彫刻に溢れ、黒漆塗りに金の金具などで装飾を施した社殿は、絢爛たる安土桃山文化の粋を伝えている。



伶楽舎 REIGAKUSHA

1985年に発足した雅楽演奏グループ。創立者・芝祐靖。現音楽監督・宮田まゆみ。発足以来、現行の雅楽古典曲だけでなく、廃絶曲の復曲や正倉院楽器の復元演奏、現代作品の演奏にも積極的に取り組み、これまでに湯浅譲二、一柳慧、池辺晋一郎、猿谷紀郎、伊左治直など様々な作曲家に新作を委嘱。武満徹「秋庭歌一具」の演奏で2002年中島健蔵音楽賞特別賞受賞。第16回(2016年度)佐治敬三賞、2020年第50回ENEOS音楽賞邦楽部門受賞。他に解説や体験を交えた親しみやすいコンサート、学校での公演なども多く行い、雅楽への理解と普及に努めている。

伊崎善之、石川高、岩亀裕子、柏木理、北村茉莉子、國本淑恵、小林勝幸、五月女愛、笹本武志、野野元、鈴木絵理、田口和美、田中康真、谷内信一、田淵勝彦、角田真美、東野珠実、中村かほる、中村華子、中村仁美、野田美香、平井裕子、福西賢、三浦礼美、宮田まゆみ、宮丸直子、村岡健一郎、八百谷啓人、八木千暁、荒川明英、武智和子



撮影:平鏡平

お問合せ ・伶楽舎 info@reigakusha.com
・東京コンサーツ Tel:03-3200-9755
(平日10:00~18:00 土日定休)

一般社団法人 伶楽舎

〒160-0012
新宿区南元町19-2千日谷会堂内
tel&fax: 03-5269-2011
http://www.reigakusha.com
https://www.facebook.com/reigakusha



今後の伶楽舎主催公演

7月24日(木)
伶楽舎子どものための雅楽コンサート2025

(越天楽、朗詠「嘉辰」を歌おう、楽器や舞の体験、芝祐靖「カラ坊風に乗る」他・千日谷会堂3回公演)

2026年1月予定
伶楽舎雅楽コンサートno.44 新春を寿ぐ

(山本和智委嘱新作、芝祐靖「男踏歌」、舞楽「喜春楽一具」他 四谷区民ホール予定)